

【 事業所名 】 スタジオG I F T 光の森

【対象サービス】 児童発達支援

ガイドラインに基づく事業所評価の集計結果表

| チェック項目 | | 評価点数 (高→低) | | | | | 改善目標・工夫している点など |
|--------|---|------------|----|----|----|----|---|
| | | 5点 | 4点 | 3点 | 2点 | 1点 | |
| 1 | 療育内容の改善に職員全体が参画できているか | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・終礼での振り返りをし情報共有している。 ・研修に参加し知識を深め日々の療育に取り入れようとしている。 ・環境設定・視覚支援など解りやすいように教材を準備している。 ・成功例もうまくいかなかった例も共有しながら全員で取り組んでいる。 ・終礼や隙間時間に子ども達の支援方法を考え実践しようとしている。職員間の話し合いも多い。 ・終礼等で必ず全員が発言し改善点や良かった点を共有している。時間の関係で終礼が確保できない時は次の日の朝礼で共有している。 |
| 2 | 保護者様の意向等を把握し子どもの状況や課題について保護者様と共通理解を持ちながら、支援内容の改善に努めているか | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子療育の際に話を伺ったり困り感をパーソナルタイムに取り入れている。 ・保護者様の話を親身になって聞き、色々な選択肢を提案しながら保護者の希望に寄り添えるよう支援している。 ・パーソナルギフトの活用や多方面からの情報を元にその子にあった支援方法を共有したり新たな事に取り組んでいる。 ・聞き取りを行い保護者様の考えを大切にしているが保護者様の協力が必要なこともある。保護者様の意見を尊重しつつも新しい考えも取り入れて欲しいが伝え方が難しい。 ・個人ファイルを療育前に確認しニーズに合わせた支援内容を考えて支援にあたっている。個別(パーソナル)ではステップアップできているか前の担当職員と情報共有する。保護者様への聞き取りは同じ内容を何度も聞いたりが内容に職員1人ひとりが情報収集し保護者様との信頼が築けるように配慮している。 |
| 3 | アセスメントから子どもと保護者様のニーズや課題を分析した上で個別支援計画を作成し、定期的にモニタリングをしながら計画見直しが行われているか | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議で必ず一つは計画案を出し合っている。 ・意見を出す職員が偏ってしまう傾向にあるので全職員が意見を出せるような会議の在り方を目指している。 ・全員で意見を出し合う会議がある。 ・個別支援計画は全員で考えを出しながら立てている。モニタリングの話し合いの結果も聞いている。それぞれの職員の支援が単発で終わらないように活動内容に合わせて具体的な支援方法を考え継続的にやりたい。 ・個別支援会議では全職員が発言し日頃の子供たちの様子から課題を見つけ(またはニーズに応じた)共有しながら支援にあたっている。 |
| 4 | 支援提供の前後には職員間でミーティングをし、その日行われる支援内容・役割分担の確認や支援の振り返り等を行っているか | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・初めての活動などどの方法が子ども達に伝わりやすいのかその日のリードを中心に話し合いを行いそれぞれの役割分担を確認し合っている。 ・日々の業務に追われて余裕が無いことが多いがその中でもできる限り振り返りを行っている。 ・朝礼終礼で話し合ったり疑問点など提示できる環境がある。 ・終礼での反省や子ども達の動きを予想し計画をみんなで話し合っている。 ・毎朝の朝礼で環境設定や個別に入る時間の確認、会議のスケジュール確認を行い安全面などにも気をつけている。 |
| 5 | 日々の支援に関して正しく記録をとり、支援の検証・改善につなげているか | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・記録は取っているつもりだが客観的な意見を頂いてないのでわかりません。支援に関しては園の先生に最近の様子を聞いたりご家庭での話を聞きその時の困り感をどう改善できるか一人一人に応じた課題を設定するようにしている。 ・簡潔に保護者様に伝わりやすいような表現を心掛けている。出来事だけでなく家庭でできる支援についても記入するようにしている。 ・自分の記録は正確さには不十分だと思うが他の先生方の記録を参考にしながらアドバイスをもらっている。 ・困りごとや支援方法やその結果を具体的に記録するようにしている。 ・どのような支援でどう変わったかなど支援内容を保護者様や園に提案できるような記録提供を心がけている。最後は管理職が必ず目を通すようにして書き方についての助言もその都度行っている。 |
| 6 | 学校や園、その他関連機関との情報共有(就学支援等を含む)や連絡調整を適宜行っているか※学校・園への送迎時の対応も含む | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生がいらっしゃらない時は詳しく話を聞く事ができないが、ギフトでできる事(できない事)と園でできる事(できない事)の違いがないか就学に向けて園で取り組んでおられる事を確認し同じように進めていけるよう配慮している。 ・担当には可能な限り参加し難しい場合も書面にて情報共有している。送迎に行く職員に療育の様子を伝えている。 ・共有すべき情報は周知できていると思う。 ・活動の様子を伝えると共に園でも同じような事はないか聞いている。支援方法を伝えあい同じ意識のもとで支援にあたらようとしている。 ・情報共有を求める園に関しては可能な範囲で伝えている。 |
| 7 | 保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対する助言等を行っているか | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・まずは共感し話しやすい雰囲気作りを心掛けている。 ・生活面の改善などは保護者に直接伝えにくい。 ・自分は知識や経験不足の為勉強中のため周りの先生方からのアドバイスを受けながら実践している。 ・保護者からの聞き取りは大切にしている。個人的に専門職としての知識と技術が不足しているので貪欲に学んでいきたい。 ・保護者のニーズを聞き取りしながら終礼等で情報共有している。 |
| 8 | 保護者様からの苦情について、対応の体制を整備すると共に保護者様に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・あまり苦情を頂いてないのでわからないが時間がとれず苦情に繋がったケースもあったと思う。 ・苦情はあまり無いが問い合わせなどにはすぐに対応している。 ・大きな苦情は無いが保護者様から問題や疑問点について指摘があれば管理者は真摯に受け止め対応している。 ・苦情に対して真摯に受け止め改善しようと考えている。職員は良くしようとして努力しているのもし事が大きくなった場合は代表が前に出て対応して頂いた方が保護者様は納得されると思う。 ・管理職と相談しながらその都度丁寧な対応を心がけている。 |
| 9 | ヒヤリハットや事故報告書を作成・共有し、事業所内での再発予防に心がけているか | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな怪我等なかったが椅子のネジが緩んでいる時は周りにも声をかけ日頃の環境設定から配慮できるようにしている。 ・事故があれば全員周知し改善改良に努めるようになっている。 ・子どもなら起こるであろう小さな怪我等まで報告をする必要があるのかと思うことがある。鬼ごっこをしていて転び膝を擦りむいたなど。 ・他店舗の情報から予防に繋げている。 |
| 10 | 職員の資質向上のための法人内での研修会が定期的に行われているか | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 11 | 災害発生時に備えた訓練や身体拘束・虐待防止の研修等を定期的(年1回程度)に行っているか | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | |